

# 富士青春市民になろう

## 新プロジェクト市を応援する人認定



小長井市長が「富士青春市民」として鷺見さん  
に市民証を贈った

富士市は11日、市ブランドメッセージ「いただきへの、はじまり 富士市」の実現に向けて、新たに「富士青春市民プロジェクト」をスタートさせることを発表した。市を応援し、盛り上げてくれる人を「富士青春市民」として認定することで、まちへの誇りである「シビックプライド」の醸成を図り、地域参画総畫の向上を目指す。

富士青春市民プロジェクトは、市を応援してくれる人なら居住地に関係なく申し込めるサポーター制度。「富士青春市民一人ひとりに基づき▽毎日をはじめ、今日もチャレン

市からは市民証とピンバッジを贈呈するほか、市が所有するメディアなどからその挑戦について情報発信し、富士青春市民同士が気軽に語り合うことをテーマにした全体ミーティングを年1回開催する。すでに申し込みの受け付けを開始しており、無期限で募集する。市では、同プロジェクトについて市民の挑戦を応援することを狙いに2年前から実施している「青春大賞事業」と市ブランドメッセージを掛け合わせた取り組みとしており、ブランドメッセージで示す理想のまちを実現するための活動戦略「市ブランドメッセージ大作戦」の根幹プロジェクトにも位置付けている。同日には、「青春大賞成果発表会2017



富士二小4年生による合唱の披露

### 青春大賞の 成果発表会

代表4組が披露  
青春大賞成果発表会では、チャレンジジャーとしてエントリーした1万335組を代表して4組がステージに登場。これまで取り組んできた成果やエピソードを披露し、果敢に挑戦することの魅力や達成感を伝えた。

## 芙蓉峰の魅力発信

### めっせ なんでも富士山賑わう

富士市柳島のふじさんめっせは11日と12日、「なんでも富士山2017」を同施設で開催した。

23日の「富士山の目」協賛事業として実施。雄大な芙蓉峰の恵みや魅力を発信する多彩な発表、展示、体験などの催しが繰り広げられ、家族連れを中心に多くの来場者でにぎわった。国土交通省富士砂防事務所やNPO法人富士山クラブ、富士山自然保護センターの資料

のほか、市内小中学校による「富士山学習」や各地区まちづくりセンターで実施している少年教育事業の成果を紹介。

富士山学習では、田子浦小、富士二小、田子浦中の児童生徒が「富士山」をテーマに仕上げた絵画やモザイクアート、俳句、絵手紙などの作品を披露。それぞれの視点から富士山を表現した個性豊かな作品に来場者から関心が寄せられた。

まちセン少年教育事業では、活動の内容をまとめた新聞や児童たちの様子を捉えた写真などを並べ、生き生きと活動に取り組んでいる姿を伝えた。

市民憲章推進のついで、「新たな発想と女性の手で農業は変わる」と題した講演会シンポジウム「世界文化遺産「富士山」をゴミ問題から考える」なども繰り広げられ、富士山や麓にある富士市について広く学べる機

会とした。同時開催イベントとして「ふじさんパンマルシェ」も実施。県内で人気のベーカリー約

30店舗による自慢のパンをはじめ、パンに合う食材やハンドクラフト作品の販売を行い、人気を集めた。



市内小中学生の「富士山学習」の成果発表ブース

ドを披露し、果敢に挑戦することの魅力や達成感を伝えた。このうち富士二小4年生は、代表児童4人が一人にあつたら大きな声であいさつする「一輪車の後ろのきぎをできるようにする」と

今後の、市では富士青春市民全員にメールで案内を送り、「富士青春大賞」を募集。ことし9月11月を募集期間とし、寄せられた挑戦内容を専用のウェブサイトに掲載、最も高い共感数を得られた人を「富士青春大賞市民」として認定する予定。